地域のみんなで健康に

上湯川ノルディックの会・8/17　No.1

高野町上湯川で「上湯川ノルディックの会」が開催されました。この会は、上湯川の天野俊明さんが、定期的にノルディックウオークをして地域のみんなで健康になりたいとの思いで立ち上げた会で、今回で４回目の開催となります。

当日は小学生からお年寄りまで幅広い年齢層11人の参加があり、世代間交流をしながらウオーキングを楽しみました。

参加した坂口一昌さんは「この会をきっかけにノルディックウオークを始めた。ポールをついて歩く事で自然と背筋が伸び、気付けば背中などの痛みが和らいでいた」と話し、効果を実感していました。

▲ノルディックウオークを楽しむ参加者

大自然を心行くまで堪能

第17回ひろしまクロスカントリー大会・8/20　No.2

道後山高原クロカンパークで第17回ひろしまクロスカントリー大会が開催されました。

西城バレーボールスポーツ少年団の荒木紗和さんは「大自然の中で多くのみんなに支えられて走れることに感謝し、精一杯最後まで走りきりたい」と、元気はつらつとした選手宣誓を行いました。大会は、１歳から85歳までの2,079人の選手が出場し、健脚を競いました。３部門４人の選手が大会記録を更新するなど熱戦が展開される中、多くの声援が上がっていました。

その他、広島県実業団招待選手のサイン会やお楽しみ抽選会などで交流を深めていました。

▲子どもから大人まで大自然の中を駆け抜けた

地域と大学生の交流

大学生がトウモロコシの収穫を体験・8/11～12　No.3

広島経済大学の学生17人が、広島経済大学興動館プロジェクトのカフェ運営プロジェクトの活動のため西城町を訪れました。大学で運営するカフェで西城町産のトウモロコシを使ったメニューを提供できないかと取り組むプロジェクトの一環で、八鉾自治振興区の協力を得て活動しています。

学生は、１日目には、八鉾自治振興区を訪ね、これまでお世話になった地域の人へ感謝の意をこめて、夕食に地元産の夏野菜などを使ったカレーライスをごちそうし、夜には八鉾自治振興区主催の星空映画館を堪能しました。２日目には、５月14日に西城町三坂の前田忠邦さんの農地を借りて種まきをしたトウモロコシの収穫などをし、地域の皆さんと交流を深めていました。

▲実ったトウモロコシを収穫

儲かる農業をめざして

儲かる農業技術講座・8/19　No.4

総領自治振興センターで、総領自治振興区主催の「儲かる農業技術講座」が開催され、９人が参加しました。この講座では生産者の増収をめざし、野菜栽培の基礎知識・技術を学び、種まきから出荷までの生産工程を実習します。

今回の講座では、JA庄原上下営農センターから講師を招き、根こぶ病などの病害虫の防除方法や収穫時期に合わせた品種選定などの栽培管理のポイントについての講義、白菜の種まき実習などが行われました。今後、農地への植え付け・収穫・出荷を予定しています。

参加者は「この講座で、高品質で安心・安全な野菜を作るための知識・技術を学び習得したい」と話していました。

▲白菜の種まき実習の様子

暑さも忘れて夢中に

比和自然科学博物館講座・8/1・22　No.5

８月１日・22日の２回にわたって、比和自然科学博物館講座の昆虫採集・標本づくりが行われました。子どもから大人まで13人が参加し、１日目の午前中には博物館周辺で昆虫採集を、午後からと２日目には標本づくりを体験しました。

厳しい暑さの中での昆虫採集でしたが、参加者は暑さも忘れ夢中でチョウやトンボなどを捕まえていました。標本づくりは初めてという参加者も多く、スタッフの説明を聞きながら、真剣に取り組んでいました。

参加した小学生は「いろいろな虫を捕まえることができたし、新しい友達もできてとても楽しかった」とうれしそうに話していました。

▲参加者は昆虫採集を楽しんだ

地域で防災意識の高揚

防災研修会・炊き出し実演の開催・7/6　No.6

口和自治振興区環境福祉部および女性部主催による、防災研修会・炊き出し実演が口和自治振興センターで開催され、口和町内から95人が参加しました。

防災研修会では、広島県自主防災士アドバイザー柳迫長三さんが、「地域における防災リーダーの役割」と題して講演をし、続いて市職員が、庄原市地域防災計画の概要を説明しました。講演などが終わった後、自治振興区女性部により、非常食の試食やカレーライスの炊き出しが行われました。

参加者は、地域の防災対策について学んだり再確認したりしていました。

▲女性部により炊き出しが行われた

奉仕活動で心が育つ

高校生によるボランティア清掃・7/25　No.7

県立東城高等学校の生徒によるボランティア清掃が行われました。この清掃作業は、毎年生徒の中から希望者を募り、ＪＲ東城駅と町内の道路５ルートに分かれて実施されています。

本年も約40人の希望者があり、駅ではJR職員の立会いのもと、生徒と教師が一緒に飾り屋根の上のほこりやクモの巣を取り除いたり、窓ガラスを雑巾やモップで拭いたりして、丁寧に掃除を行っていました。

参加した生徒は、「地域の人に応援の声をかけられ、うれしかった」「掃除してみて初めて、意外と汚れていることに気付いた。今後はきれいに使うよう意識したい」「タバコなどのポイ捨ても目立った。マナーを守ってほしい」などの感想を話していました。

▲ＪＲ東城駅内をくまなく掃除した